授業科目	看護教科教育法Ⅰ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	前田　由紀子						
授業概要	看護教育制度及び高等学校衛生看護科における教科目標および科目編成、衛生看護科の各科目の目標と内容およびその取扱いについて解説する。それを基に、看護科の各科目の授業を実践するために必要となる指導観、教材観を育み、授業を展開できる能力を養うことを意図する。また、看護教育に携わる者としての態度及び教育力・研究的能力を養うことを目指す。						
授業形態	講義、演習			授業方法	模擬授業		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 看護教育制度及び高等学校看護科教育の目標及び教育課程について説明できる。 2. 看護教育の方法と学習理論について説明できる。 3. 教材研究および教材開発の在り方について説明できる。 4. 看護教育の授業設計方法について理解し、授業設計できる。 5. 看護教育の授業を評価する方法について説明できる。 6. 模擬授業を実践し、客観的に評価できる。 高等学校看護科教育の目標及び教育課程について理解し、学習理論を活用しつつ教材研究に取り組み、看護教育における「講義」の形態の授業設計を立案することができる。授業設計に基づいて模擬授業を実践し、その授業の評価をすることができる。
理想的レベル	高等学校看護科教育の目標・教育課程を理解し、教育方法論・学習理論について図書を利用し、学びを深める。教材研究及び教材開発にも積極的に取り組み、現に看護教育を実践している看護学科の教員とも意見交換を行い、「講義」形態の授業計画を立案する。練習を重ねて、模擬授業を展開し、自身の授業について客観的に評価でき、自己の課題を明確にする。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	20%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	模擬授業
レポート外の提出物	50%	ポートフォリオ作成
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU34109J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
予習：該当部分の予習、復習：該当部分の復習・レポート作成等	4

授業計画	
第 1 回	テーマ：オリエンテーション・看護教育制度

	看護教育制度の変遷及び現在の教育制度について解説する。
第 2 回	テーマ：高等学校看護科教育の目標及び教育課程 高等学校看護科教育の目標及び科目編成、各科目の目標と内容、その取扱いについて解説する。
第 3 回	テーマ:看護教育の方法と学習理論 看護教育を支える学習理論、学習の特徴について解説する。
第 4 回	テーマ：看護教育における授業と学習形態 授業の意味、働き、仕組みと看護教育における学習形態について解説する。
第 5 回	テーマ：看護教育の授業設計のあり方 授業設計の要素及び設計方法について解説する
第 6 回	テーマ：授業展開の方略 授業展開に必要な基礎知識について解説する。
第 7 回	テーマ：教材研究および教材開発のあり方 授業を展開するうえで必要となる教材研究の進め方と教材・教具の特性について解説する。
第 8 回	テーマ：授業の評価 授業評価の方法について解説する。
第 9 回	テーマ：看護教育の授業設計「講義」 講義法の利点、留意点、構成について解説する。
第 10 回	テーマ：看護教育の授業設計「講義」(1) 単元の指導案について授業設計する。
第 11 回	テーマ：看護教育の授業設計「講義」(2) 単位時間の指導案について授業設計する。
第 12 回	テーマ：看護教育の授業設計「講義」(3) 単位時間の指導過程について授業設計する。
第 13 回	テーマ:模擬授業「講義」(1) 作成した授業設計に基づいて、模擬授業を展開する。
第 14 回	テーマ:模擬授業「講義」(2) 作成した授業設計（前回とは違う内容）に基づいて、模擬授業を展開する。
第 15 回	テーマ：まとめ 模擬授業の振り返りと看護教育の課題についてディスカッションする。
テキスト	文部科学省：高等学校学習指導要領解説看護編 平成 30 年告示　東山書房 佐藤みつ子・宇佐美千恵子・青木康子：看護教育における授業設計第 4 版、医学書院
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書；藤岡完治　堀喜久子編：看護教育の方法、医学書院 教材：必要に応じて資料を配布する。

課題に対するフィードバックの方法	レポートは全体に対してコメントします。発表は、模擬授業を行い授業内でコメントします。レポート外の提出物として、ポートフォリオを作成し、学習のプロセスを見ながらフィードバックします。
学生へのメッセージ・コメント	これまで学習した看護専門科目・専門基礎科目及び教職に関する科目が基礎になりますので、日ごろから看護に関する科目に積極的に取り組みましょう。 看護学科の講義・演習・実習における先生方の教授法が、すべてみなさんの教育法の学びのヒントになっています。教える側からの視点で講義・演習・実習に参加しましょう。